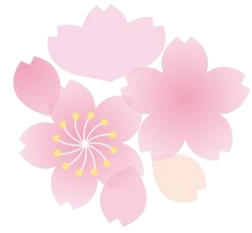


日田消防署新庁舎見学会の報告 (公社)大分県建築士会日田支部 秋 和夫



12月4日(金曜日)午後2時より、日田玖珠広域消防組合発注の「日田玖珠広域消防本部及び日田消防署庁舎建設事業」の新庁舎見学会を実施しました。

当日は、建築士会員30数名の見学参加がありました。



建物概要

敷地面積 ; 7,588.00 m²
建築面積 ; 1,932.78 m²
延床面積 ; 3,328.56 m²
構造 ; RC造2階建て一部S造

設計業務を、平成25年6月1日より開始し、建設工事を平成26年12月25日に着工、平成27年11月30日に竣工しました。

総額12億1,500万円の内訳は下記の通りです。

まず、初めにエントランスホールで、当工事の監理担当者である日田市役所建築住宅課の佐藤幸司氏の説明を受け、見学者それぞれが、通信指令室や消防車庫などの建物の隅々まで心行くまで見て廻りました。

内装制限等の法的な理由により、壁や天井に木材が使用できないため、床やサインなどに日田産材を採用し、その使用量は約6.6m³でした。

庁舎建築設計業務	27,668,550(税込み)
デジタル整備工事	19,440,000(税込み)
庁舎建築主体工事	877,824,000(税込み)
庁舎機械設備工事	100,440,000(税込み)
庁舎電気設備工事	190,080,000(税込み)





《 報告後記 》

日本全体の高齢化対策の為、高機能消防指令システム整備に伴い、消防救急デジタル無線化された消防署新庁舎が完成し、日田市は、ますます安心して住める街づくりに一歩前進しました。

消防署員の職務はとても大変で、火災の中、人命救助という重要な使命は、時間との戦いでもあります。テキパキとした無駄のない動作は、指令室からの指示により成り立っています。新庁舎というハコは、ハード面からその活動を支える拠点です。私自身も、施工図等で、工事の一部を手伝うことができた事は、とても嬉しくて誇りでもあります。

日田インターチェンジの近くで、救急車の連携も楽になり、これまでと比べて、玖珠への広域対応も随分と時間短縮できそうです。今後も消防署員の活躍を期待しております。

(広報部 秋)